

NORTHLIBRARY

令和2年度最終号

令和2年度の「NORTHLIBRARY」も最終号を迎えました。

(悲しいような、名残惜しいような…)皆さん、読んでいただけていたでしょうか？

さて、最終号の今回は趣向を変えて先月行われた「朗読会」の報告と「加古北読書王」の紹介をします。

朗読会

令和2年2月12日(金) 15:40～ 図書室

10組13人の朗読者による朗読会が行われました。作品は次の通りです。

- ①カゲロウデイズ ②夜は短し歩けよ乙女 ③精霊の守人 ④100万回生きたねこ
- ⑤また、同じ夢を見ていた ⑥その日さえ、嘘だとしても ⑦ブロードキャスト
- ⑧映画 暗殺教室-卒業編- ⑨三ひきのこぶた ⑩茗荷谷の猫より「染井の桜」

今年はコロナウイルスの関係で開催できるか微妙でしたが、三密を避け無事開催することが出来、ほっとしています。朗読してくれた皆さん、観覧していただいた皆さん、放送部の方々には感謝しかありません。来年の朗読会もよろしくをお願いします。

図書委員長

私は初めて朗読会に参加しましたが、どの人もその場の情景が思い浮かぶような素晴らしい朗読でした。今年は、コロナのため小規模で行いましたが、来年はもっと盛り上がるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

図書副委員長

読書王

令和2年度最多 貸出冊数！！77冊

1年3組 川端 誠人 君

僕が、この一年で最も印象に残った本は「海に願いを 風に祈りを そして君に誓いを」です。この本は全11章からなっていて、前半の5章は、カップルの様子が書かれているにも関わらず、次の章で彼女が別れを告げます。これは、終盤で明かされる衝撃の事実と繋がります。その事実を知った時、僕は思わず涙してしまいました。最初、違和感を覚えた箇所を読み返すと、綺麗に最終章と繋がりが納得することが出来ました。

僕は感動するお話が好きなので、今後もさまざまな本と出会いたいです。

1年3組 川端 誠人



1年で77冊！！(6月から始まっているからもっと短い…?)すごいですね。さあ、来年の読書王の栄冠は誰の頭上に輝くのでしょうか！！これからも図書室でお待ちしています。

☆2月の貸出冊数

貸出冊数 84冊

春休み図書室利用方法について

平日：9：00～14：00

ただし、次の日は閉館

3月31日（水）

4月 1日（木）/6日（火）/7日（水）

図書貸し出しは 1回5冊まで 2週間 です♡

新着図書案内

書名	作者	出版社
コロナと生きる	内田樹、岩田健太郎	朝日新聞出版
教員という仕事	朝比奈なを	朝日新聞出版
人新世の「資本論」	斉藤幸平	集英社
アパレルの終焉と再生	小島健輔	朝日新聞出版
レイジズムとは何か	梁英聖	筑摩書房
嫉妬	林真理子	ポプラ社
心淋(うらさび)し川	西條奈加	集英社
夏への扉/The door into summer/新訳版	ロバート・A、ハインライン	早川書房
成功する人は、教わり方が違う。	中谷彰宏	河出書房新社



☆図書室では2021年本屋大賞ノミネート作品10作を揃えています。

「犬がいた季節」(伊吹有喜) / 「お探し物は図書室まで」(青山美智子) / 「推し、燃ゆ」(宇佐見りん) / 「オルタネート」(加藤シゲアキ) / 「逆ソクラテス」(伊坂幸太郎) / 「この本を盗む者は」(深緑野分) / 「52 ヘルツのクジラたち」(町田そのこ) / 「自転しながら公転する」(山本文緒) / 「八月の銀の雪」(伊与原新) / 「滅びの前のシャングリラ」(岡良ゆう)

大賞が決定するのは4月14日です!!さて、どの作品が大賞に輝くのか!図書室に展示しているノミネート作品の作品紹介の用紙にあなたのお勧め本または読んでみたい本にシールを貼ってください。さあ、あなたの予想は……!?

図書室でお待ちしています。